【資料編】

■資料１：関連法規等一覧

■資料２：ピクトグラム等一覧

（１）標準案内用図記号

（２）ベビーカーマーク（平成 26 年３月 26 日 国土交通省公表）

（３）便房設備の表示例

（４）ベビーベッド、授乳室及びおむつ交換の表示例

（５）祈祷室及び充電コーナー（東京国際空港ターミナル株式会社の事例）

（６）公共交通関係ピクトグラム

１）路線マーク

２）駅ナンバリング

３）モノレール（東京国際空港ターミナル株式会社の事例）

４）空港行きの鉄道・バスに関するピクトグラムの掲出

（７）東京都作成ピクトグラム及びマーク

１）飲食店で使用するピクトグラム及びマーク

２）案内地図サイン、誘導サイン等に掲載するピクトグラム

■資料１：関連法規等一覧

法令・指針・文献名	発行 発布	発行者（出版社）
外国人観光旅客の旅行の容易化等の促進による国際観光の振興に関する法律（外客来訪促進法）	H9.6 (H26.4改正)	----------
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 （バリアフリー新法）	H18.6 (H26.6改正)	----------
「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」及び「道路の案内標識の英語による表示に関する告示」(※)	S35.12 (H26.4改正)	----------
東京都福祉のまちづくり条例	H7.3 (H21.3改正)	----------
東京都屋外広告物条例	S24.8 (H23.12改正)	----------
観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン	H26.3	国土交通省 観光庁
観光活性化標識ガイドライン	H17.6	国土交通省 総合政策局
東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル	H26.9	東京都 福祉保健局
東京都福祉のまちづくり推進計画	H26.3	東京都 福祉保健局
福祉のまちづくりをすすめるためのユニバーサルデザインガイドライン	H18.1	東京都 福祉保健局
公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン （バリアフリー整備ガイドライン（旅客施設編））	H25.10	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
道路の移動等円滑化整備ガイドライン（増補改訂版）	H23.8	一般財団法人 国土技術研究センター （㈱大成出版社）
道路標識設置の手引き（東京都版）	H25.4	一般社団法人 全国道路標識・標示業東京都協会
観光地のためのひと目で分かる案内標識計画・設置・管理マニュアル	H17.9	観光地域づくり・案内標識研究会（㈱ぎょうせい）
ひと目でわかるシンボルサイン 標識案内用図記号ガイドブック	H13.3	交通エコロジー・モビリティ財団

（※）道路の案内標識の英語表記は当該告示によることとされているため、案内サインと案内標識の表記の整合を図る観点から掲載

■資料２：ピクトグラム等一覧

（１）標準案内用図記号

標準案内用図記号ガイドラインについて（出典：公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団）

１．策定の目的

不特定多数の人が出入りする交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等に使用される案内用図記号は、一見してその表現内容を理解できることから、文字表示に比べて優れた情報提供手段です。しかしながら、国内的にも国際的にも標準化が遅れています。国内的には未だ日本工業標準（JIS）化がなされず施設ごとにバラバラに使用されているのが現状です。国際的にも国際標準化機構（ISO）によってわずか 57 項目が標準化されているに過ぎません。

一方で、社会の変化により利用者のニーズが多様化し、またバリアフリーの観点からもこうした図記号の一層の充実、統一化の必要性が高まっています。

本ガイドラインは、こうした状況を受けて、交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等の国内諸施設に使用される案内用図記号の標準となるものを示すことを目的として策定されました。

２．策定の経緯

本ガイドラインは、国土交通省の関係公益法人である交通エコロジー・モビリティ財団が日本財団の助成を得て設置した「一般案内用図記号検討委員会（以下「検討委員会」という。）」における検討を経て策定されました。 検討委員会は、国土交通省、経済産業省、文部科学省、警察庁、消防庁をはじめとする行政機関、交通 事業者、観光・流通事業者団体、消費者団体、障害者団体、学識経験者、デザイナー等の参加を得て、1999 年４月に設置され、案内用図記号の標準化に向けて約２年間検討を行いました。

はじめの１年間は、一般 案内用図記号の国内外事例の収集、カテゴリーの分類、表示事項の選択、図材の選定等の作業を行い、続いて、体系的に新しく造形をし直し、2000 年６月に 128 項目の原案を策定しました。その後、ISO 及び JIS の調査方法に準拠した理解度及び視認性調査により原案の適正度を評価し、2001 年３月１日の委員会において、原案のうち 125 項目を「標準案内用図記号」として決定いたしました。

なお、検討委員会は、128 項目の原案を 2000 年 10 月 25 日に東京で開催された ISO 図記号専門委員会に「日本案の検討状況と中間成果 」として報告しています。また、2001 年４月からは、本ガイドラインの JIS 化に向けて、(財）日本規格協会において「案内用図記号 JIS 化検討委員会（仮称)」を設けて検討を行っていくこととなっております。

３．図記号の造形者

本ガイドラインの図記号は、検討委員会ワーキンググループの図材選定と監修のもとに［社団法人日本サインデザイン協会 (SDA) ＋中川憲造／NDC グラフィックス］が造形しました。ただし、既存のもの等をそのまま表示している※印のある図記号は除きます。

４．本図記号のご利用にあたって

本ガイドラインに掲載されている図記号は、誰でも自由に使用することができます。ただし、これらの図記号を商標又は意匠として登録等を行うと、第三者の権利を侵害する可能性があります。ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部
Tel：03-3221-6673　Fax.：03-3221-6674

その後、この図記号の JIS 化に関し、日本標準調査会標準部会基本技術専門委員会において標準案内用図記号 125 項目のうち 108 項目と応用部分２項目を含め、110 項目の JIS（日本工業規格）化案が了承され、公告期間を経て平成 14 年３月 20 日に JISZ8210 として制定されました。

5. 使用上の注意

1）本ガイドラインでは、図記号の使用について次の推奨度区分を定めています。使用にあたっては、これを遵守してください。

・推奨度Ａ：安全性及び緊急性に関わるもの、多数のユーザーにとって重要なもの及び移動制約者へのサービスに関わるものです。
これらについては、図形を変更しないで用いることを強く要請します。

・推奨度Ｂ：多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念及び図形を統一することによって利便性が高まると期待されるものです。
これらについては、図形を変更しないで用いることを推奨します。

・推奨度Ｃ：多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念を統一することが必要なものです。
これらについては、基本的な概念を変えない範囲で適宜図形を変更して用いることができます。

2）[注1]の表記がある図記号は、文字による補助表示が必要です。図記号単独での使用は避けてください。
その際の文字表示は、各図記号に併記してある表示事項を参考にしてください。

3）[注2]の表記がある図記号は、図記号中の通貨記号を必要に応じて他の通貨記号に変更することができます。

4）本ガイドラインの図記号は、視距離１ｍで表示する場合の最小寸法を35mm角、手にとって見ることのできる地図類に用いる場合の最小寸法を8mm角とする条件で設計されています。これより小さくして使用することは避けてください。（図１）

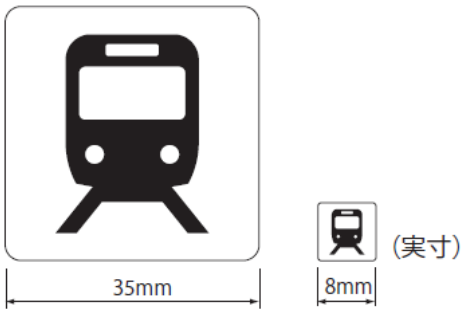
5）本ガイドラインの図記号は、正方形・円形・三角形が同じ大きさに見えるように、寸法を調整してあります。これら三種の外形を持つ図記号を混用して拡大・縮小する際は、この点にご留意ください。（図２）

6）赤、青、黄、緑が使用されている図記号の色彩は、[JISZ9103安全色及び安全標識(2017年度改正)]に依っています。使用の際は、次の値を参照してください。(図3)

※このガイドラインは、レギュラーインクを使用しているため近似色である。

	色名	マンセル値
安全色	赤	8.75R 5/12
	青	2.5PB 4.5/10
	黄	7.5Y 8/12
	緑	5G 5.5/10
対比色	白	N9.3
	黒	N1.5

（図１）

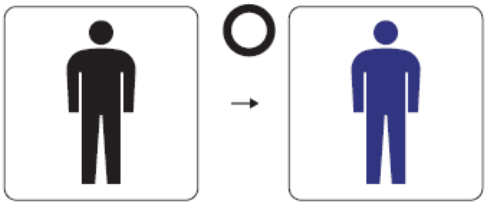


（図２）

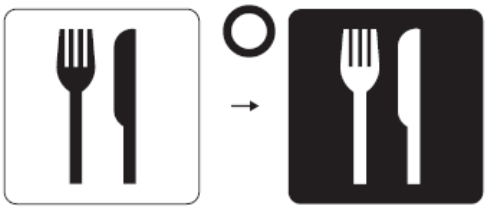
（図３）

7）白地に黒色で表現されている図記号は、前記の赤、青、黄、緑の安全色を除く、他の色彩に変更することができます。（図４）
また、図と地の関係を反転することができます。（図５）

（図４）

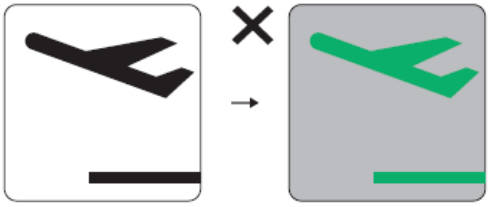


（図５）



8）色彩あるいは明度を調整して使用する場合は、見やすさに配慮し、図と地色とのコントラストが十分明確になるようにしてください。
明度差は少なくとも０～１０段階のマンセル表色系で、５以上になるようにしてください。（図６）

（図６）



9）図記号によっては、誘導方向や設置環境に応じて左右を反転することができます。（図７）にその例を示します。

（図７）

推奨度
A

案内
Information

案内所
Question & answer

病院
Hospital

救護所
First aid

警察
Police

お手洗
Toilets

男女共用お手洗
All gender toilet

(備考)
文字による補助表示を付ける場合は、「男女共用　All gender」またはそのどちらかとする。
色彩はモノトーンが望ましい。

男性
Men

女性
Women

飲料水
Drinking water

喫煙所
Smoking area

※1

(備考)
火災予防条例で上記の図記号の使用が規定されている場所には、上記の図記号を使用する必要がある。

1 公共・一般施設　Public Facilities

推奨度
B

チェックイン / 受付
Check-in / Reception

忘れ物取扱所
Lost and found

ホテル / 宿泊施設
Hotel / Accommodation

きっぷうりば / 精算所
Tickets / Fare adjustment

手荷物一時預かり所
Baggage storage

コインロッカー
Coin lockers

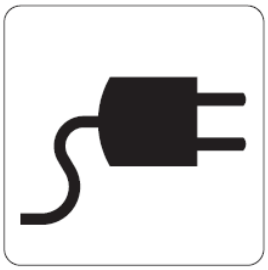
休憩所 / 待合室
Lounge / Waiting room

ミーティングポイント
Meeting point

銀行・両替
Bank, money exchange
[注2]（通貨記号差し替え 可）

キャッシュサービス
Cash service
[注2]（通貨記号差し替え 可）

海外発行カード対応ATM
ATM for oversea cards
[注2]（通貨記号差し替え 可）

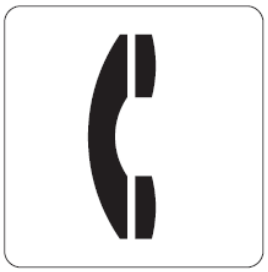


充電コーナー
Charge point

1 公共・一般施設　Public Facilities

推奨度
B

郵便
Post



電話
Telephone

無線LAN
Wireless LAN

ファックス
Fax

カート
Cart

エレベーター
Elevator

エスカレーター
Escalator

階段
Stairs

乳幼児用設備
Nursery

こどもお手洗
Children's toilet

おむつ交換台
Diaper changing table

ベビーチェア
Baby chair

1 公共・一般施設　Public Facilities

推奨度
B

着替え台
Changing board

※2

洋風便器
Sitting style toilet

※2

和風便器
Squatting style toilet

※2

温水洗浄便座
Spray seat

クローク
Cloakroom

更衣室
Dressing room

更衣室（女性）
Dressing room (women)

シャワー
Shower

浴室
Bath

水飲み場
Water fountain

礼拝室
Prayer room

くず入れ
Trash box

1 公共・一般施設　Public Facilities

推奨度
B

リサイクル品回収施設
Collection facility for
the recycling products

推奨度
C

自動販売機
Vending machine
[注2]（通貨記号差し替え 可）

推奨度
B

航空機 / 空港
Aircraft / Airport

鉄道 / 鉄道駅
Railway / Railway station

船舶 / フェリー / 港
Ship / Ferry / Port

ヘリコプター / ヘリポート
Helicopter / Heliport

バス / バスのりば
Bus / Bus stop

タクシー / タクシーのりば
Taxi / Taxi stop

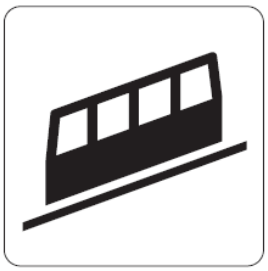
レンタカー
Rent a car

一般車
Car

自転車
Bicycle

レンタサイクル / シェアサイクル
Rental bicycle / Bicycle sharing

ロープウェイ
Cable car



ケーブル鉄道
Cable railway

2 交通施設 Transport Facilities

推奨度
B

駐車場
Parking

出発
Departures

到着
Arrivals

乗り継ぎ
Connecting flights

手荷物受取所
Baggage claim

税関 / 荷物検査
Customs / Baggage check

出国手続 / 入国手続 /
検疫 / 書類審査
Immigration /
Quarantine / Inspection

駅事務室 / 駅係員
Station office / Station staff

3 商業施設　Commercial Facilities　11 項目

推奨度
B

レストラン
Restaurant

喫茶・軽食
Coffee shop

バー
Bar

ガソリンスタンド
Gasoline station

会計
Cashier
[注2]（通貨記号差し替え 可）

推奨度
C

店舗 / 売店
Shop

新聞・雑誌
Newspapers, magazines

薬局
Pharmacy

理容 / 美容
Barber / Beauty salon

手荷物託配
Baggage delivery service

コンビニエンスストア
Convenience store

推奨度
B

展望地 / 景勝地
View point

陸上競技場
Athletic stadium

サッカー競技場
Football stadium

野球場
Baseball stadium

テニスコート
Tennis court

海水浴場 / プール
Swimming place

スキー場
Ski ground

キャンプ場
Camp site

温泉
Hot spring

イヤホンガイド
Audio guide

4 観光・文化・スポーツ施設　Tourism, Culture, Sport Facilities

推奨度
C

公園
Park

博物館 / 美術館
Museum

歴史的建造物
Historical monument

応用例 1
variant 1

応用例 2
variant 2

参考

※3

スポーツ活動
Sporting activities

※3

腰掛け式リフト
Chairlift

推奨度
A

消火器
Fire extinguisher

非常電話
Emergency telephone

非常ボタン
Emergency call button

列車の非常停止ボタン
Emergency train stop button

※4

非常口
Emergency exit

（備考）
消防法に基づく告知
（平成11年3月17日消防庁告示第2号）

※5

広域避難場所
Safety evacuation area

6 禁止 Prohibition　23 項目

推奨度
A

※6

一般禁止
General prohibition

禁煙
No smoking

※1

（備考）
火災予防条例で上記の図記号の使用が規定されている場所には、上記の図記号を使用する必要がある。

※1

火気厳禁
No open flame

進入禁止
No entry

駐車禁止
No parking

自転車乗り入れ禁止
No bicycles

立入禁止
No admittance

走るな / かけ込み禁止
Do not rush

ホームドア：たてかけない
Do not lean objects on the platform door

ホームドア：乗り出さない
Do not lean over the platform door

さわるな
Do not touch

[注 1]（文字による補助表示が必要）

6 禁止 Prohibition

推奨度
A

捨てるな
Do not throw rubbish

飲めない
Not drinking water

携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones

電子機器使用禁止
Do not use electronic devices
[注 1]（文字による補助表示が必要）

撮影禁止
Do not take photographs

フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs

着席禁止
Do not sit here

6 禁止 Prohibition

推奨度
B

ベビーカー使用禁止
Do not use prams / strollers
[注1]（文字による補助表示が必要）

遊泳禁止
No swimming

キャンプ禁止
No camping

推奨度
C

飲食禁止
Do not eat or drink here

ペット持ち込み禁止
No uncaged animals

推奨度
A

※6

一般注意
General caution

障害物注意
Caution, obstacles
[注 1]（文字による補助表示が必要）

上り段差注意
Caution, uneven access / up

下り段差注意
Caution, uneven access / down

滑面注意
Caution, slippery surface

転落注意
Caution, drop
[注 1]（文字による補助表示が必要）

天井に注意
Caution, overhead

ホームドア：手を挟まないよう注意
Caution, closing doors

感電注意
Caution, electricity
[注 1]（文字による補助表示が必要）

8 指示　Mandatory　15 項目

推奨度
A

※6

一般指示
General mandatory

静かに
Quiet please

シートベルトを締める
Fasten seat belt

左側にお立ちください
Please stand on the left
[注 1]（文字による補助表示が必要）

応用例 variant
右側にお立ちください
Please stand on the right
[注 1]（文字による補助表示が必要）

距離を保ってください
Keep your physical distance

マスクを着用してください
Wear a facial mask

手を消毒してください
Disinfect your hands

換気してください
Please ventilate

（備考）
換気している状況を示す場合「換気しています　Optimum air ventilation」

8 指示　Mandatory

推奨度
B

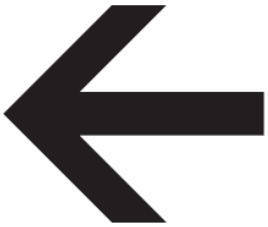
二列並び
Line up in twos
[注1]（文字による補助表示が必要）

応用例 1
variant 1
（一列並び
Line up single file）
[注1]（文字による補助表示が必要）

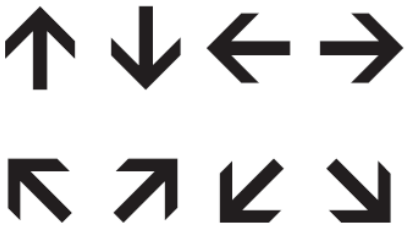
応用例 2
variant 2
（三列並び
Line up in threes）
[注1]（文字による補助表示が必要）

応用例 3
variant 3
（四列並び
Line up in fours）
[注1]（文字による補助表示が必要）

※6



矢印
Directional arrow



応用例
variants

推奨度
A

※7

障害のある人が使える設備
Accessible facility

スロープ
Slope

オストメイト用設備 /
オストメイト
Facilities for Ostomy /
Ostomate

コミュニケーション
Communication in the specified language

（備考）
言語(ENGLISH)は、他の言語及び国旗に差し替え 可

コミュニケーション：筆談対応
Communication：Writing

介助用ベッド
Care bed

カームダウン・クールダウン
Calm down, cool down

[注 1]（文字による補助表示をつける場合は「カームダウン・クールダウン」とする）

（備考）「この部屋は気持ちを静めるための部屋です」など、運用に適した利用説明の表示をつけることが望ましい。

高齢者優先設備
Priority facilities for elderly people

障害のある人・けが人優先設備
Priority facilities for injured people

内部障害のある人優先設備
Priority facilities for people with internal disabilities, heart pacer, etc.

乳幼児連れ優先設備
Priority facilities for people accompanied with small children

妊産婦優先設備
Priority facilities for expecting mothers

9 アクセシビリティ　Accessibility

推奨度
A

高齢者優先席
Priority seats for elderly people

障害のある人・けが人優先席
Priority seats for injured people

内部障害のある人優先席
Priority seats for people with internal disabilities, heart pacer, etc.

乳幼児連れ優先席
Priority seats for people accompanied with small children

妊産婦優先席
Priority seats for expecting mothers

案内用図記号　追補１　（平成 19 年１月 20 日）

洪水
flood

堤防
levee

避難所（建物）
safety evacuation shelter

案内用図記号　追補２　（平成 21 年３月 20 日）

津波注意
Warning;Tsunami hazard zone

津波避難場所
Tsunami evacuation area

津波避難ビル
Tsunami evacuation building

案内用図記号　追補３　（平成 22 年３月 20 日）

※表示事項の変更
「身障者用設備」
⇒「障害のある人が使える設備（Accessible facility)」

※表示事項の変更
「車椅子スロープ」　⇒　「スロープ（Slope)」

案内用図記号　追補４　（平成 26 年７月 22 日）

優先設備図記号　　Symbols for priority facilities

高齢者優先設備
Priority facilities for elderly people

障害のある人･けが人優先設備
Priority facilities for injured people

妊産婦優先設備
Priority facilities for expecting mothers

乳幼児連れ優先設備
Priority facilities for people accompanied with small children

内部障害のある人優先設備
Priority facilities for people with internal disabilities, heart pacer,etc.

優先設備図記号の組み合わせ例　Basic composition of a signboard

優先席図記号　　Symbols for priority seats

高齢者優先席
Priority seats for elderly people

障害のある人･けが人優先席
Priority seats for injured people

妊産婦優先席
Priority seats for expecting mothers

乳幼児連れ優先席
Priority seats for people accompanied with small children

内部障害のある人優先席
Priority seats for people with internal disabilities, heart pacer,etc.

優先席図記号の組み合わせ例　Basic composition of a signboard

観光関連図記号　　観光・文化・スポーツ施設図記号

コミュニケーション
Communication in the specified language

靴を脱いでください
Take off your shoes

※言語（” ENGLISH” の部分）は、他の言語及び国旗に変更することができる。

（２）ベビーカーマーク（平成 26 年３月 26 日 国土交通省公表）

案内図記号	禁止図記号 ※案内図記号と同一デザインを用いたもの

（３）便房設備の表示例

出典：東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル
（平成26年９月、東京都福祉保健局）

（４）ベビーベッド、授乳室及びおむつ交換の表示例

出典：東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル
（平成26年９月、東京都福祉保健局）

（５）祈祷室及び充電コーナー（東京国際空港ターミナル株式会社の事例）

祈祷室	充電コーナー

（６）公共交通関係ピクトグラム

以下に公共交通関係のピクトグラムとして、「路線マーク」と「駅ナンバリング」を示します。

なお、路線マーク等の使用にあたっては、各鉄道事業者に対して、路線マークの掲載に関する事前の確認および調整が必要です。

１）路線マーク

①東京メトロ

銀座線	丸ノ内線	日比谷線	東西線	千代田線
有楽町線	半蔵門線	南北線	副都心線	

②都営地下鉄

浅草線	三田線	新宿線	大江戸線

③西武鉄道

西武池袋線・秩父線・有楽町線・豊島線・狭山線	西武山口線	西武新宿線・拝島線	西武国分寺線・西武園線
西武多摩湖線	西武多摩川線		

④京王電鉄

京王線	井の頭線

⑤小田急電鉄

小田急小田原線	小田急江ノ島線	小田急多摩線

⑥東京急行電鉄

東横線	目黒線	田園都市線	大井町線
池上線	東急多摩川線	世田谷線	こどもの国線

⑦京浜急行電鉄

京急本線

⑧ゆりかもめ

ゆりかもめ

２）駅ナンバリング

①東京メトロ

銀座線	丸ノ内線	日比谷線	東西線	千代田線
有楽町線	半蔵門線	南北線	副都心線	

②都営地下鉄

浅草線	三田線	新宿線	大江戸線

③東武鉄道

東武ｽｶｲﾂﾘｰﾗｲﾝ・ 亀戸線・大師線	東武伊勢崎線・ 佐野線・小泉線・ 桐生線	東武日光線・ 宇都宮線・鬼怒川線
東武ｱｰﾊﾞﾝﾊﾟｰｸﾗｲﾝ （野田線）	東武東上線・越生線	

④西武鉄道

西武池袋線・秩父線・有楽町線・豊島線・狭山線	西武山口線	西武新宿線・拝島線	西武国分寺線・西武園線
西武多摩湖線	西武多摩川線		

⑤京成電鉄

京成線

⑥京王電鉄

京王線	井の頭線

⑦小田急電鉄

小田急小田原線	小田急江ノ島線	小田急多摩線

⑧東京急行電鉄

東横線	目黒線	田園都市線	大井町線
池上線	東急多摩川線	世田谷線	こどもの国線

⑨京浜急行電鉄

京急本線

⑩ゆりかもめ

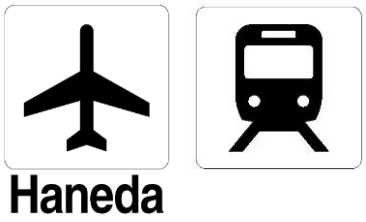
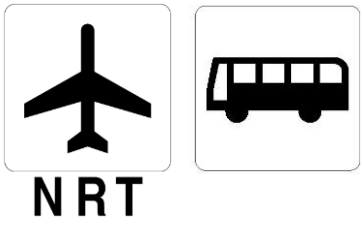
ゆりかもめ

３）モノレール（東京国際空港ターミナル株式会社の事例）

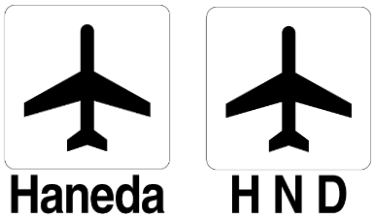
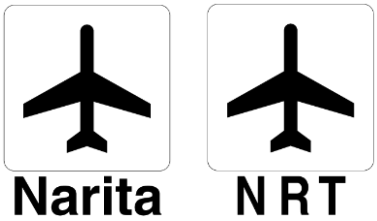
モノレール

４）空港行きの鉄道・バスに関するピクトグラムの掲出

空港行きの鉄道・バスを案内するサインについては、「鉄道／鉄道駅」、「バス／バスのりば」のピクトグラムと併せて「航空機／空港」のピクトグラムを掲出し、空港に行くことを直感的に理解できるようにすると効果的である。表示にあたっては、羽田・成田等の空港名を併記するなど、外国人旅行者が分かりやすいように留意する。

①「空港行きの鉄道」の表示例	②「空港行きのバス」の表示例
	

※「鉄道／鉄道駅」の標準案内用図記号は、路線マーク等での掲出も可。

羽田空港	成田空港
	

（７）東京都作成ピクトグラム及びマーク

１）飲食店で使用するピクトグラム及びマーク

①食材ピクトグラム

●肉類

牛肉　豚肉　馬肉　羊肉　鶏肉

●魚貝類

魚類　あなご、うなぎ　貝類　えび　かに　たこ　いか

●野菜類

やまいも　まつたけ　きのこ類　にんにく類　根菜類

●果物

オレンジ　キウイフルーツ　りんご　バナナ　もも

●乳製品・卵

乳製品　卵

●ナッツ類

落花生　カシューナッツ　クルミ　アーモンド

●その他

小麦　そば　ごま　大豆　酒類　ゼラチン　はちみつ

○生もの

②多言語メニュー

（飲食店の店頭等において、多言語メニューがあることを示すマーク）

４言語【英語、中国語（簡・繁）、韓国語】	英語のみ

③使用食材表示

（飲食店の店頭等において、メニューに使用食材の表示があることを示すマーク）

使用食材表示

２）案内地図サイン、誘導サイン等に掲載するピクトグラム

①防災船着場

防災船着場